

伊勢小澣

せうとうり、漢詩人、歌人。文政五年長野國生れ、明治十九年

月一日没（一八九一—一八八）。舊姓北條、講氏舞、舞と修す。字君難、蓮種
鐵之助、瀨兵衛、新左衛門。別號秋航、管田、小澣釣徒。藩醫、明倫館
が學び、嘉永以降國事じ奔走。維新後奈良府判事、倉敷縣權判事を歴
任。明治五年退官歸鄉して文筆生活を、十四年由内省京都市支入廳長官として
居り、在任中病死。

没後の二月十四日、郷里舊宅七番の靈祭概況及び追善供詞を遺稿に於て『清
酌餘哀』（明治十九年二月布施清介序、無刊記）がある。

